



2004年9月16日

テレビ東京 広報・IR部

●.....●

平成17年のお正月を彩る“新春ワイド時代劇” 司馬遼太郎原作の『国盗り物語』に決定！

平成17年の初頭を飾るテレビ東京正月恒例の長時間ドラマ、新春ワイド時代劇の作品が、『国盗り物語』に決定した。「国盗り物語」は、司馬遼太郎が、四十歳の時から書き始めた作品で、第一巻から第四巻まであり、前半は斎藤道三編、後半は織田信長篇となっている。年代にして、永正14年(1517)から天正10年(1582)までの66年間、まさに下克上の時代の歴史ドラマである。

9月13日(月)に行われた製作発表記者会見には、主演の北大路欣也、伊藤英明、渡部篤郎をはじめ、高島礼子、菊川怜、鈴木杏樹や酒井法子らが出席し、演じての感想や撮影前の抱負を語った。

北大路欣也(斎藤道三役)

戦国ものというとなりがメインという感じですが、道三はお万阿という女性に出会わなければ、国主にもなれなかったと思います。女性の懐の深さや愛の深さ、忍耐力などを実感しながら、高島さんとのシーンを撮りました。道三は非常に個性的ですが、もっと若くて、強烈な個性をもった信長や光秀が登場する地ならしをしたのが彼だと思います。40歳も年の違う2人を心から尊敬し、敬愛していた男同士のロマンと、それを支える女性たちの姿をお届けできるよう、頑張ります。

伊藤英明(織田信長役)

僕は岐阜県出身なので、土地柄、歴史的にも興味のあるテーマでした。自分がこのような大役をいただけるとは思わなかったのが、信長ファ

ンとして精一杯がんばっていきたいです。

渡部篤郎（明智光秀役）

撮影がまだなので、役についてはこれからゆっくり考えていきたいと思いますが、ここに来て、すごい作品なんだなあと感じました。ご迷惑がかからないように、頑張っていきたいと思います。

高島礼子（お万阿役）

お万阿は、経済的にも精神的にもとても恵まれていた女性で、道三とめぐり合い、つくすことができ、女冥利につきると思います。

菊川怜（濃姫役）

濃姫は、道三ゆずりの男まさりで、気が強くて、芯が強い、女性からみてもあこがれる素敵な人物です。このような役を演じるのに、今からワクワクしています。また、素敵な俳優さんたちと一緒に演技をするのも楽しみです。

鈴木杏樹（深芳野役）

深芳野は、生まれながらに不幸を背負った、悲劇の女性です。笑顔にも寂しさと悲しさを感じるような……。幸せになれそうでなれない役が、最近多いので、台本を読んで非常に共感しました。私にとって、とてもいい役なので、最後まで演じきりたいです。

酒井法子（お槇役）

時代劇は2年ぶりですが、前回は秀吉の妻を演じました。秀吉には側室がたくさんいましたが、今回は側室を1人もとらず、お槇だけを愛してくれた光秀の妻です。光秀が病に倒れたとき、自分の髪を売って、薬を買ったという話を聞き、日本にもそのような胸を打つ話があるのだと知りました。母として、妻として、女性として、学ぶことの多い役で、この役をいただけて感謝しています。

(題 名) 『国盗り物語』

(放 送) 2005年1月2日(日)午後2時から一挙10時間

(収録形態) HD VTR収録

(放送形式) 全 四 部 構 成

(製 作) テ レ ビ 東 京
C . A . L

(主題歌) 加 藤 登 紀 子
「絆 ki・zu・na」

(脚 本) 宮 川 一 郎
大 石 静

(監 督) 井 上 泰 治
森 本 浩 史

(番組ホームページ) <http://www.tv-tokyo.co.jp/kunitori>

本件に関するお問い合わせ
テレビ東京 番組宣伝部 TEL / 03-3432-1212